

## 第 30 回 茅野市・原村地域公共交通活性化協議会 議事録

[日時] 平成 31 年 2 月 20 日(水) 10:30～11:30

[場所] 茅野市役所 8 階大ホール

[議事]

1. 開会
2. 会長あいさつ
3. 交代委員、新任委員等紹介
4. 協議案件
  - (1) 副会長の選出について
  - (2) 平成 31 年度茅野市・原村地域公共交通活性化協議会事業計画及び予算（案）について
  - (3) その他
5. 報告案件
  - (1) 協議路線運行における利用状況について
  - (2) 利用者満足度調査結果について
  - (3) 地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について
6. その他
7. 閉会

[出席者] 1. 委員●名、庁内委員・事務局●人、傍聴者●名、別紙のとおり

**[1. 開会]** 【事務局 地域戦略課長】

**[2. あいさつ]** 【会長 茅野市長】

**[3. 交代委員、新任委員等紹介]** 【事務局 地域戦略課長】

### **[4. 協議案件]**

#### **(1) 副会長の選出について**

事務局より、副会長職が、これまでアルピコ交通株式会社中南信支社長にお願いしており、今回、市社長の交代があったことを説明。

#### **【会長】**

これまで同様に、アルピコ交通株式会社中南信支社長である二條支社長にお願いしたいということですが、ご意見ありますでしょうか。

ご意見は無いようですので、よろしければ拍手をもって承認をお願いいたします。

(拍手)

ありがとうございました。

#### **(2) 平成 31 年度茅野市・原村地域公共交通活性化協議会事業計画及び予算（案）について**

—— 資料 2-1・2 説明 —— 【事務局】

#### **【会長】**

ご意見・ご質問はありますでしょうか。

ご意見は無いようですので、よろしければ拍手をもって承認をお願いいたします。

(拍手)

ありがとうございました。

### (3) その他

—— 特になし ——

## [5. 報告案件]

### (1) 協議路線運行における利用状況について

### (2) 利用者満足度調査結果について

——資料 3、4、別紙を説明——

【事務局】

#### 【会長】

ご意見・ご質問はありますでしょうか。

山田教育長、御狩野線の通学支援便の利用者が少ないともことでしたが、初めから夕方の利用が分散して少ないのであれば、目標値を見直すということも必要だと思いますがいかがですか。

#### 【委員】

部活動については県から朝部活はできるだけやらないような指導が来ています。

しかし、市内の中学では朝部活が必要であることから、これらも含めて考えていく必要があると思っている。

#### 【会長】

調査している立場からはいかがでしょう。

#### 【事務局】

御狩野線の通学支援便については、利用対象者が往復利用するという想定で目標値が設定されている。しかし、部活、また、塾などもあるため、夕方の便の想定を見つめなおし、目標値を再検討する必要があるかもしれないと考えている。

#### 【委員】

資料 3 における平成 30 年 10 月からの変更内容に対する利用者数は 3 か月間の停留所における利用者数と考えてよいか。

#### 【事務局委員】

資料 3 における平成 30 年 10 月からの変更内容に対する利用者数は 3 か月間の停留所における利用者数と考えてよいか。

#### 【委員】

資料 3 に協議外路線の利用者数について運行開始後 27 か月で 2 万人、30 年度には 9 万人となっており、数値が理解しづらいが理由があるのか。

また、御狩野線通学支援便の利用者が少ない一方で、満足度は非常に高いがこの点についてどのように評価しているか。

#### 【事務局】

御狩野線については、利用者が少ない理由としては部活や塾などで帰り便の利用が少ないためであり、満足度は子供たちの基本的な移動に合わせた通学支援便であることから高くなっていると考えている。

協議外路線の利用者数については、平成30年の利用者数が9万人となっていますが9千人の間違いとなっております。訂正いただきますようお願い申し上げます。

#### 【会長】

御狩野線通学支援便の経緯については、当時は列車通学などもあったようであるが、金沢地区の通学をどうするかということで、通学支援便の運行を開始した。その際、対象者は全員乗って下さいということであったが塾などで利用していない生徒もおり利用者は目標に達していない。

しかし、通学時は非常に便利であるため満足度は非常に高いということに理解しています。

#### 【委員】

検証の中で土日運行の要望が多いということであるが、どのような路線に多いのか、何に使うのかがわかると我々も検討しやすい。

また、御狩野線についてであるが、金沢地区の区長会長としては、各種補助金をやめ運行しているので基本的に現在の運行を維持し、利用を徹底していくという考え方でよいと思う。ただし、利用が少ないのはなぜなのか調査し、改善できる部分は改善していくということによいと思う。

個人としても地区に戻ってみたいと思う。

#### 【事務局】

アンケートの中には自由回答欄を設けており、そこで土日運行の意見が寄せられています。

路線としては東向ヶ丘線、丸山線でそのような意見が多くみられる。

そのような情報については、今後、発信できる部分については発信していく方向で検討していきたいと思う。

#### 【会長】

子供たちに聞くと、土日にステーションパークに行きたいなどの声も聞こえては来ました。

#### 【委員】

協議会当初から参加しているが、今日の評価をみて運行開始後8年でよくここまで来たと思っています。今後の問題として、満足度調査など利用者に意見を聞いていますが、非利用者の意見も聴取していく必要があると思います。

また、区長さんなど各組織の代表としてこの会議に参加していただいているので、地元や組織に戻った時に、昨年末全戸配布されたポケット時刻表を用い、公共交通の話をさせていただくなど必要だと思えます。

また、デマンドなど新たな取り組みも、全市的に行うなど検討もよいかもしれないと思う。

**【事務局】**

潜在需要の中には、バスの乗り方をご存じでない方もいらっしゃると思います。また、各地区で公共交通についてお話しする機会などあれば、お声がけいただければと思っています。

デマンドについては、ご意見として承ります。

**【会長】**

有賀委員、中央病院にバスを使ってくる人など把握されてますでしょうか。

**【委員】**

中央病院の立場としては、生活路線の多くが経由していただいております。高齢者の方などからは、公共交通があり非常に便利であるなどの声もお寄せいただいております。一方、投書箱に寄せられた意見には、土曜日は閉院しているがお見舞いの方や急病の方がいらっしゃる土曜日でも運行していると良いという意見もあります。

また、病院側の都合ですが、駅前の人工透析を行う診療所が4月から病院に統合されることになっています。このため、駅前で透析を受けていた方も病院に来ることになります。ほとんどの方は、自動車ですらっているようであるが、バスがあったらよいという話もあり、将来の検討課題としてご承知おきいただきたいと思っています。

**【会長】**

非常に利用者の多い原村循環線についてはいかがでしょうか。

**【事務局】**

原村では、通学支援便と原村循環線というものがありますが、通学支援便に関しては、別荘地区に移住者が増えており、小中学生のお子さんが多くなってきており、当初9人乗りであったが乗り切れなくなってきており連行便などで対応しているが、来年さらに多くなるものと予想されており苦慮している。

分散して利用していただくなど配慮もいただきたいとは思いますが、今後、さらなる対応も検討していかなければならないと思います。

**(3) 地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について**

——資料5 説明——

**【事務局】**

**【会長】**

ご意見・ご質問はありますか。

また、資料お目通しいただきましてご意見などあれば事務局にお問い合わせいただければと思います。

**[6. その他]**

(特になし)

**[7. 閉会]**

**【有賀副会長】**